



ナイト ミュージアム

宮永愛子 × 中野量太

宮永愛子

1974年京都市生まれ。2008年東京藝術大学大学院美術研究科先端芸術表現専攻博士課程修了。日用品をナフタリンでかたどったオブジェや塩を使ったインスタレーションなど、気配の痕跡を用いて時を視覚化する作品で注目を集める。主な個展に「life」ミヅマアートギャラリー(東京、2018)、「みちかけの透き間」大原美術館有隣荘(岡山、2017)、「宮永愛子：なかそら一空中空一」国立国際美術館(大阪、2012)など。

2019年 8月24日(土)

「宮永愛子 × 中野量太」トークショー

無料※
電話申込

トークショー | 19:00~20:00

定員：先着 100名 ※ 観覧券が必要。*

会場：2階展示室

要電話申込(7月23日(火) 8:30~)

出品作家・宮永愛子氏と香川にゆかりのある映画監督・中野量太氏とのスペシャル対談。

「変わりながらも存在し続ける世界」を表現する美術家と、独自の視点と感性で「家族」を描く映画監督に自分たちの作品について語っていただきます。

中野量太

1973年生まれ。京都市で育つ。大学卒業後、日本映画学校に入塾し3年間映画作りの面白さに没頭。卒業後、映画の助監督やテレビのディレクターを経て、自主編映画『チチを撮りに』(2012)を制作、国内外で多数の映画賞を受賞し注目される。

主な作品に『湯を沸かすほどの熱い愛』(2016)、最新作『長いお別れ』(2019)など。

「ndjc:若手映画作家育成プロジェクト」製作実地研修完成作品

「琥珀色のキラキラ」上映



監督・脚本：中野量太 出演：尾野真千子、松原菜野花、滝藤賢一、長宗我部陽子、小市慢太郎

無料
事前申込
不要

上映時間 | 18:00 ~ 18:30

定員：先着 180名 会場：1階講堂

2008年文化庁委託事業「ndjc:若手映画作家育成プロジェクト」に選出、制作され、高い評価を得た短編映画。



あらすじ：おかつは頭の涼子はちょっと内気な中学1年生。2年前に母を病気で亡くしてからはずっと父・省三との2人暮らし。そんな藍沢家に3ヶ月前、突然髪を頭の上でキュッと束ねた関西弁の道子さんがやって来た。家族のようで家族でない微妙な3人の琥珀色の物語。

©2009 VIPO